

令和7年度  
事業報告書

社会福祉法人 新潟臨港福祉会

特別養護老人ホーム桃山園

ショートステイ桃山園

デイサービスセンター桃山園

ケアハウス桃山園

訪問介護ステーションここあん

サービス付き高齢者向け住宅ここあん

## I. 法人の概況

### (1) 定款の目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

### (2) 運営事業

#### ① 第一種社会福祉事業

- ・特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホーム桃山園）
- ・軽費老人ホームの経営（ケアハウス桃山園）

#### ② 第二種社会福祉事業

- ・老人デイサービス事業の経営（デイサービスセンター桃山園）
- ・老人短期入所事業の経営（ショートステイ桃山園）
- ・老人居宅介護等事業の経営（訪問介護ステーションここあん）

#### ③ 公益を目的とする事業

- ・社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業（奨学金事業）
- ・居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所ここあん）
- ・サービス付き高齢者向け住宅の経営（サービス付き高齢者向け住宅ここあん）

### (3) 職員の状況

（令和8年3月31日現在）

施設名	常勤職員数	非常勤職員数	合計
特別養護老人ホーム桃山園	60人	7人	67人
デイサービスセンター桃山園	9人	4人	13人
ケアハウス桃山園	3人		3人
合計	72人	10人	83人

## II. 事業再編に関する特記事項

当期において、法人の経営基盤強化と持続可能な運営体制への移行を目的として、以下の通り事業の再編を実施いたしました。

### (1) 複合型拠点事業の整理

対象事業	施設名	区分	内容
サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅ここあん	事業譲渡	(一社)医療サービス機構へ 令和7年6月30日 事業譲渡
訪問介護	訪問介護ステーションここあん	事業譲渡	同上
地域密着型通所介護	デイサービスセンターここあん	事業廃止	令和7年6月30日 事業廃止
居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所ここあん	事業廃止	同上

## (2) 施設契約の精算について

当該拠点に係る特定賃貸借契約については、解約違約金の支払いを含めた清算を完了しております。これにより一時的な特別損失が発生したものの、不採算部門の切り離しが完了したことで、法人全体の資金繰りは安定化いたしました。

## Ⅲ. 財務状況の概況

### 法人合算事業活動計算書

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A-B)
サービス活動収益	573,988,419円	580,319,712円	△6,331,293円
サービス活動費用	589,915,211円	644,360,430円	△54,445,219円
<b>サービス活動増減差額</b>	<b>△15,926,792円</b>	<b>△64,040,718円</b>	<b>48,113,926円</b>
サービス外活動収益	5,874,623円	3,492,583円	2,382,040円
サービス外活動費用	35,496円	35,496円	0円
<b>サービス活動外増減差額</b>	<b>5,839,127円</b>	<b>3,457,087円</b>	<b>2,382,040円</b>
<b>経常増減差額</b>	<b>△10,087,665円</b>	<b>△60,583,631円</b>	<b>50,495,966円</b>
特別収益	0円	0円	0円
特別費用	46,142,374円	2,926,340円	43,216,034円
<b>特別増減差額</b>	<b>△46,142,374円</b>	<b>△2,926,340円</b>	<b>△43,216,034円</b>

## Ⅳ. 事業実績

令和7年度は、「サービスの向上」および「経営基盤の安定・強化」を柱に、組織全体のボトムアップと効率化に注力いたしました。主な実績は以下の通りです。

### (1) 令和7年度の基本方針に対する評価

#### ① サービスの向上について

利用者様およびご家族に安心を提供できるよう、専門性の向上と体制整備を推進しました。

##### ・ ケアの質と専門性の強化

内部研修の定期開催により、職員のスキルアップを図りました。特に「看取り介護」に関しては、ガイドラインの再整備と多職種連携を強化し、ご家族を含めた意向に沿った支援体制を確立しました。

##### ・ 人材育成と職場環境の改善・人材確保

次世代リーダーの育成に向けた外部研修への参加を促進しました。職場環境の改善では、間接的な介護業務を行う介護補助員の採用を促進しました。人材確保については、介護職員の採用は新卒採用1名、中途採用2名でした。有料求人WEBサイトの利用等行いましたが、求人募集数には届きませんでした。

#### ② 経営基盤の安定・強化について

変化する経営環境に対応するため、組織運営の効率化と最適化を行いました。

- ・ 経営組織の効率化

令和4年度に開設した「ここあん」事業拠点を令和7年6月末で事業譲渡・事業廃止をし、本体施設「桃山園」各事業の運営強化を図りました。限られた職員数で効率的に事業運営ができるよう、生産性向上と業務効率化の推進をしました。

- ・ 職員の処遇改善

職員の離職防止や処遇改善を行うため、処遇改善加算、介護保険事業費補助金を原資に大幅な賃金改善を行いました。

(2) 各事業の基本方針に対する評価

① 特別養護老人ホーム桃山園

- ・ 利用者数の状況

利用率は当初目標の94.5%に対して93.2%、前年比101%となりました。利用者のQOL向上と入院抑制のため、栄養士・介護職員・看護職員・給食委託業者と連携し、毎日の食事内容の改善を図りました。入居者ごとに適切なエネルギーや栄養価を見直す等により健康維持や体重減少を抑えることができ、下期には入院者が前年度よりも減少傾向となりました。しかし、当期は例年に比べ退居者が多かったことにより利用率は伸びませんでした。

- ・ 利用者、家族との信頼関係の強化

利用者と家族との関わりを強化するため、面会が多くできるよう、休日対応などを重点的に見直しました。コロナ禍前までとはいきませんが、入居者家族との面会が多くできるようになりました。

② デイサービスセンター桃山園

- ・ 利用者数の状況

利用率は当初目標の81%に対して71.9%、前年比101.4%となりました。新規利用者は前年と同等人数でしたが、入院や他施設への入居等により解約件数も多く利用率が伸びませんでした。

- ・ 利用者ニーズの対応

利用者家族や担当ケアマネージャーとの関係性を強化し、慣れ親しんだ地域で生き生きと生活が出来るよう、利用者のニーズの把握に努めました。在宅生活が継続できるようなアクティビティや機能訓練の強化を行いました。

③ ケアハウス桃山園

- ・ 利用者数の状況

利用率は当初目標の95%に対して99.8%、前年比102.1%となりました。退居者は3名でしたが、入居待機者も多くスムーズに入居促進ができております。

- ・ 併設事業との連携

併設するデイサービス、空床ショートステイと連携し、できる限り長くケアハウスで生活が継続できるようサービスの提供ができました。

## V. 庶務事項

### (1) 理事会

決議日	決議・報告事項
令和7年5月12日 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"><li>・特定建物賃貸借契約合意解約書、事業譲渡契約書締結の件</li><li>・サービス付き高齢者向け住宅ここあん、居宅介護支援事業所ここあん、訪問介護ステーションここあん、デイサービスセンターここあんの事業廃止届の提出の件</li><li>・評議員会への提案の件</li></ul>
令和7年6月4日	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度事業報告及び計算書類等の件</li><li>・評議員任期満了につき候補者選任の件</li><li>・理事任期満了につき候補者選任の件</li><li>・監事任期満了につき候補者選任の件</li><li>・経理規程一部改定の件</li><li>・施設整備等積立資産の取り崩しの件</li><li>・定時評議員会開催の件</li><li>・定款一部変更の件（報告）</li><li>・役員等の報酬及び旅費規程一部変更の件（報告）</li></ul>
令和7年6月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・理事長の選定の件</li></ul>
令和7年11月19日	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年度 収支補正予算の件</li><li>・上半期事業実績の件(報告)</li></ul>
令和8年3月25日	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年度 収支補正予算の件</li><li>・令和8年度 事業計画及び収支予算の件</li><li>・施設長選任の件</li><li>・理事1名辞任につき補欠の理事候補者選任の件</li><li>・外国人留学生に対する奨学金貸与の件</li><li>・経理規程一部改正の件</li><li>・評議員会への提案の件</li></ul>

### (2) 評議員会

決議日	決議・報告事項
令和7年5月23日 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"><li>・特定建物賃貸借契約合意解約書、事業譲渡契約書締結の件</li><li>・サービス付き高齢者向け住宅ここあん、居宅介護支援事業所ここあん、訪問介護ステーションここあん、デイサービスセンターここあんの事業廃止届の提出の件</li></ul>
令和7年6月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度事業報告及び計算書類等の件</li><li>・理事任期満了につき選任の件</li><li>・監事任期満了につき選任の件</li><li>・定款一部変更の件</li><li>・役員等報酬及び旅費規程一部変更の件</li><li>・評議員選任の件(報告)</li></ul>
令和8年3月30日 (決議省略)	<ul style="list-style-type: none"><li>・理事1名辞任につき補欠の理事選任の件</li></ul>

(3) 評議員選任・解任委員会

- ・ 令和7年6月13日 評議員任期満了につき候補者選任

(4) 第三者委員会

- ・ 令和7年6月25日 令和6年度苦情処理実績報告

(5) 登記事項

- ・ 令和7年7月2日 理事長変更登記、資産の総額の変更登記
- ・ 令和7年7月11日 定款変更登記

(6) 許認可

- ・ 令和7年6月30日 訪問介護ステーションここあん 事業廃止
- ・ 令和7年6月30日 デイサービスセンターここあん 事業廃止
- ・ 令和7年6月30日 居宅介護支援事業所ここあん 事業廃止
- ・ 令和8年2月5日 デイサービスセンター桃山園 事業指定更新
- ・ 令和8年2月17日 特別養護老人ホーム桃山園 事業指定更新
- ・ 令和8年2月17日 ショートステイ桃山園 事業指定更新

(7) 重要な契約事項

- ・ 令和7年6月9日 特定賃貸借契約合意解約書締結（株式会社ネクサス）
- ・ 令和7年6月12日 事業譲渡契約書締結（一般社団法人医療サービス機構）
- ・ 令和8年3月18日 介護福祉士奨学金貸与契約・貸付奨学金の連帯保証に関する覚書（外国人留学生・学校法人エイシンカレッジ）

(8) その他

- ・ 令和7年5月19日 新潟市消防局立ち入り検査
- ・ 令和7年11月4日 永年勤続者表彰

## VI. 法人内部監査

(1) 監事による監査

- ・ 監査日 令和7年5月12日
- ・ 監査実施事項 ① 法人役員等の業務が適切に執行されているか。  
② 事業報告について、法令及び定款に従い実施されているか。  
③ 計算書及び財産目録が適正に処理されているか。
- ・ 指摘事項 なし

(2) 会計事務所による会計内部監査

- ・ 会計事務所 税理士法人さくら総合会計事務所
- ・ 巡回監査回数 年6回

## VII. 所轄庁からの報告徴収・検査

令和7年度は、所轄官庁等による指導監査及び実地指導等はありませんでした。

## VIII. 苦情の受け付け及び解決

令和7年度におきまして、福祉サービスにおける苦情の受付はありませんでした。

## IX. 地域における公益的取組

社会福祉法人の責務として、地域社会のニーズに応じた支援および地域活性化への貢献を目的に、以下の取組を実施いたしました。

### (1) 生活困難者に対する支援（利用者負担軽減制度の実施）

経済的な理由により介護保険サービスの利用が困難な方々に対し、独自の負担軽減措置を継続して実施しました。

- ・ 取組内容

低所得層の利用者様を対象に、居住費（滞在費）や食費、介護サービス費の自己負担分の一部を減免し、経済的な不安を解消することで、必要なサービスを継続的に利用できる体制を維持しました。

- ・ 成果

本制度の適用により、地域におけるセーフティネットとしての役割を果たし、住み慣れた地域での生活継続を支援しました。

### (2) 地域活性化への貢献（地域イベントへの協賛・協力）

地域住民との交流を深め、活力ある地域づくりを支援するため、地元の行事やイベントに対して積極的な協力を行いました。

- ・ 取組内容

山の下地区活性化まちづくり実行委員会主催で行われました「光と船のキラメキ！山の下夜遊びランド」、「山の下ハロウィンパーティ」の協賛、「山の下神宮秋季大祭」の奉賛を行いました。

- ・ 成果

地域団体との連携を深めることで、法人の事業に対する理解を促進するとともに、地域コミュニティの維持・発展に寄与しました。

### (3) 地域交流スペースの開放

- ・ 取組内容

新潟市福祉部地域包括ケア推進課の依頼により、高齢者を対象とした介護予防教室「幸齢ますます元気教室」の場として地域交流スペースを開放しました。

- ・ 成果

施設が「地域コミュニティの拠点」として機能することで、住民の方々との顔の見える関係を築き、孤立防止や地域福祉の向上に寄与しました。

## X. 職員教育・研修

令和7年度は、法人の経営理念、基本方針に沿ったより良いサービスの提供を行うため、一般職員、中堅職員、管理者に区分したそれぞれのテーマで、利用者の多様なニーズに応えるべく、施設内外の研修を実施いたしました。

研修によって得た専門性や実践力の向上が、それに伴った意欲の向上で業務改善意識も高まり、組織の活性化につなげることが出来ました。

なお、新規採用者は、制度上で必要な研修は入職時にそれぞれ実施しております。

### (1) 内部研修

実施月	研修名	対象職種 参加者数	研修概要
4月	パーセルインデックスの評価	デイ職員 12名	パーセルインデックスの評価の仕方、項目別の判定基準
4月	介護現場に必要な接遇マナー	全職員 71名	介護現場に必要な接遇マナーについて学ぶ
6月	入浴介助研修	デイ職員 12名	入浴介助のリスクマネジメントを徹底し、事故防止に努める
6月	感染症対策研修	全職員 75名	手指消毒の必要性、タイミング、手順を学ぶ
7月	リスクマネジメント研修	全職員 57名	具体的な事故再発防止策の流れ、原因調査の重要性を理解する
8月	排泄研修	介護従事者 24名	通常業務におけるおむつの当て方、陰部洗浄方法
8月	身体拘束研修	介護従事者 67名	安全確保のための身体拘束、身体拘束をしないための方法を学ぶ
9月	とろみ研修	介護従事者 21名	嚥下機能に合わせたとろみの付け方を学ぶ
10・11月	感染症対策研修	全職員 38名	嘔吐物処理方法、濃厚接触者部屋での防護具の着脱方法を手順等を学ぶ
10月	口腔ケア研修	介護従事者 21名	口腔ケアと誤嚥性肺炎、歯喪失率と認知症の関連性について学ぶ
10月	ポジショニング研修	介護従事者 18名	ポジショニングの目的、用具の種類、使用方法について学ぶ
11月	入浴介助研修	デイ職員 10名	入浴介助に必要な知識と技術を理解する
11月	褥瘡予防研修	介護従事者 60名	褥瘡発生のメカニズムと予防、栄養管理について学ぶ
11月	看取り研修	介護従事者 53名	看取り期での利用者の尊厳を尊重するケアを学ぶ
12月	防災BCP研修	全職員 70名	BCPを基に地震発生時における避難誘導を学ぶ
12・1月	身体拘束・虐待研修	全職員 61名	スピーチロック、心理的虐待を理解し、防止に努める
3月	口腔ケア研修	介護従事者 17名	摂食・嚥下について学び、誤嚥性肺炎予防に繋げる
3月	感染BCP研修	全職員 63名	感染症発生時におけるBCPの重要性と具体的対応方法を学ぶ
3月	リスクマネジメント研修	介護従事者 65名	事故・ヒヤリの集計分析により事故発生予防を学ぶ

(2) 外部研修

研修区分	実施延人数	受講内容（抜粋）
管理者対象研修	14名	雇用管理責任者講習、感染症対策研修、要介護施設等管理者向け高齢者虐待防止研修、安全対策体制加算対応研修会、BCP研修・訓練実施、外国人介護人材受け入れ支援セミナー、ボランティア受入施設担当者研修会、やさしい生産向上の進め方
介護職（係長・主任）対象研修	9名	介護福祉士養成実習施設実習指導者研修会、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程、要介護施設等管理者向け高齢者虐待防止研修、コーチング研修、精神・発達障害者しごとサポーター養成講座、外国人介護人材受け入れ支援セミナー、介護職場における生産性向上支援セミナー
介護職（中堅職員）対象研修	14名	認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修、認知症の理解と認知症チームケア、リーダーコミュニケーション研修、リーダーシップ研修、コンフリクトマネジメント研修、嚥下のスクリーニング検査、ティーチング研修、フィジカルアセスメント研修
介護職（一般職員）対象研修	11名	実務者研修、アンガーマネジメント研修、口腔ケア研修、モチベーションマネジメント研修、みえる認知症ケア、喀痰吸引等研修、介護技術講習会負担の少ない移動・移乗介助、伝える力研修
生活相談員・ケアマネージャー対象研修	8名	介護支援専門員更新研修、認定調査従事者現任研修、苦情解決能力向上研修、介護職場における生産性向上研修、デイサービスセンター研修会、地域福祉コーディネーターフォローアップ研修、山の下地域包括ケアネット第21回大会、意思決定支援研修会
看護職・栄養士対象研修	10名	感染症対策研修会、認知症対応力向上研修、意思決定支援研修会、介護職員研修会、給食施設指導会、嚥下のスクリーニング検査、栄養情報連携研修会
事務職員対象研修	2名	社会保険、給与事務関連

XI. 補助金事業及び助成金事業・寄附金の実績

(1) 補助金事業及び助成金事業について

下記の助成事業及び補助金事業により各対象の事業を実施しました。

補助金等の名称	交付目的及び概要	交付団体	交付額	当事業による効果等
人材開発支援助成金	職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を促進する訓練等に助成	新潟労働局	¥207,300	介護福祉士実務者研修、認知症介護実践リーダー研修、介護福祉士実習指導者研修等により職員のキャリアアップ促進に繋がった
キャリアアップ助成金	非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成	新潟労働局	¥600,000	非正規雇用職員を正職員に登用することによりキャリアアップの促進ができた

補助金等の名称	交付目的及び概要	交付団体	交付額	当事業による効果等
トライアル雇用助成金	就職が困難な障害者を一定期間雇用することにより、障害者の早期就職の実現や雇用機会の創出を図ることを目的とする	新潟労働局	¥80,000	当該事業により送迎に係る介護補助員の採用をすることができた
障害者トライアル雇用奨励金	就職が困難な障害者を一定期間雇用することにより、障害者の早期就職の実現や雇用機会の創出を図ることを目的とする	新潟労働局	¥120,000	当該事業により介護補助員の採用をすることができた
医療機関・社会福祉施設光熱費等高騰対策緊急支援事業補助金	光熱水費等が高騰する影響を特に強く受けている、社会福祉施設等における安全な医療福祉サービスの提供や事業継続の確保を図ることを目的として助成	新潟県	¥915,000	全ての経費が高騰するなか、当補助事業により経費の補填をすることができた
令和6・7年度介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業	介護職員について、職場環境改善に取り組む介護サービス事業所等の支援	新潟県	¥9,523,684	当該事業により当法人に勤務する介護従事者の賃金改善を行うことができた
令和7年度結核予防費補助金事業	特別養護老人ホームの入所者に対する結核予防に対する補助	新潟市	¥70,833	本事業により、入所者の結核予防措置が実施できた
令和6年度社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業助成金	介護サービスを利用する低所得者に対する利用者負担軽減額の補助	新潟市	¥135,000	本事業により低所得者の利用料減免措置を講ずることができた
高齢者施設等物価高騰対策支援金	物価高騰の影響により施設の光熱水費等の負担緩和のため、施設・サービス種別に応じて支援金を交付し、高齢者施設等のサービスの質の確保及び業務継続を支援	新潟市	¥2,954,400	当該事業により増加する経費の補填をすることができた
軽費老人ホーム事務費補助金	軽費老人ホームの運営費の補助	新潟市	¥18,339,000	本事業により利用者に対し包括的なサービスが提供できた
疾病予防補助金	職員に対するインフルエンザ予防接種費用に対する補助	新潟臨港保険組合	¥74,000	当法人職員に対し円滑に予防接種をすることができた
合 計			¥33,019,217	

## (2) 寄附金

令和7年度における寄附金はありませんでした。